

第5回定例理事会

1月12日
グランドアーク半蔵門
出席理事・監事・特別参与31人

町づくり支援に転換へ

春からの被災地ボランティア

深谷会長は冒頭、「日経新聞の記事によると、日本の若者たちは中

年以上の人たちよりはるかに高い割合で「生まれ変わっても日本人がいい」「日本は良くない」と夢を持っているというデータが出た。

われわれは高齢化社会で遊べる遊技機を創出しようとして1円パチンコ等を心がけてやってきて、これはこれで成果があったと思うが、今年

は高齢化対策だけでなく、雇用を含めて若い方たちに向けた対策を考えていくべきではないか。より一層若い人を雇用し、若いファンを増やしながらやっていくよう心がけたい。昨年3月11日をきっかけに日本人の価値観が変わった。われわれも同様に意識を変え、多

だ。この業界が誠を尽くすことで国民に受け入れられる産業になるのではないかと思う」と述べた。

南三陸町を実地取材

東日本大震災被災地でのボランティア活動を今春から再開するにあたり、昨年暮れに現地を視察してきた日遊協ボランティア派遣隊隊長の白石良二理事から、宮城県南三陸町を拠点とし、社会貢献共同体ユニテッド・アースと組んでの町づくり支援が提起された。昨春秋、日遊協賛助会員でもある(株)ガイアシステムから同町での復興支援が提案され、現地で活動しているユニテッド・アースと話し合ってきた。ユニテッド・アースの活動内容はキッズサポート、コミュニティサポート等、現在9項目ある。

南三陸町は「平成23年度地域づくり総務大臣表彰」で大賞を受賞

目的ホールなどにも目を向けていかなければならない。わたしは今年の一文字に「誠」を選ん

し、2月4日に仙台市で表彰式があったばかり。地元のお店とボランティアとが中心となって実行委員会をつくり、「福興市」を開催したり、被災体験を語り継ぐ「語り部ガイド」プロジェクトを立ち上げて就職支援や仕事の配分などの努力をしている。総務大臣表彰の審査では、自立したグループ活動、地域のきずなの重視などが評価されて大賞に至ったという。「南三陸町はまだ瓦礫のまま、町としてはほとんど出来上がっていない。病院など大きな建物は残っているが、実際に使用できない状態だ。町をこれからつくって行く上で、わたしたちのボランティアでもいろいろな部分で支援の場を設けることができると思う」と白石理事は語っている。

昨年の日遊協各支部のボランティア実績は、宮城県石巻市、岩手県陸前高田市へ4、11月の8か月間18回、計189人が派遣され、瓦礫、汚泥の撤去作業などを行なった。

専門委員会の再編検討

専門委員会の見直しが事務局側から提起された。日遊協の専門委

定例理事会の冒頭、挨拶する深谷会長



委員会は、一昨年4月から現在の8委員会制になっているが、その後の情勢の変化で委員会によっては審議する事項が乏しくなったり、1つの項目に特化した小グループ編成のほうが効果的と思われるケースが出始めている。各委員の任期(2年)が満了するのを機会に、風営法の改善検討、消費税、カジノ等、新しい問題も考慮に入れて部分的に見直したいとしている。

ネットチラシが増加

昨年9月からインターネットチラシ広告のShuforo!で掲載している、パチンコのチラシ広告の掲載枚数が報告された。それによると、9月146枚、10月228枚、11月331枚、12月787枚の計1492枚で、徐々に増加している。チラシの掲載希望があれば、その内容をインターネット広告協議会(日遊協、凸版印刷株、IMC(株)で構成)で事前審査してからアップする。現状では、審査での警告は著作権のあいまいさに関するものが多く、表現自体で問題になるケースは減少している。協議会では、掲載数をもっと増やし、将来的にはShuforo!掲載の

チラシが1つの広告基準としてオンラインライズされることを目指したいとしている。

公益目的は現状36%

公益法人の申請に関し、前回の理事会(11月)で、日遊協の事業

のうち共益事業、公益事業の別を示してほしいとの要望があったことを受けて、加藤義久監事から説明があった。今年度予算ベースで総事業費を見ると、共益が約1億6900万円、公益が約1億3100万円となっている。公益法人

の申請にあたっては公益目的の事業比率(総事業費プラス管理費のうち公益目的の事業費の割合)が50%以上であることが求められているが、日遊協の場合は約36%にとどまるとの説明があった。

店長等講習・試験

5月9日・広島から 12年度は6都市で9回開催

ホールの運営を経営者(会社)から任された店長や店長候補者に、健全な営業に資する心構え・知識・技能等を身につけてもらうため、日遊協が関係団体の協力を得て行う店長等講習・試験が、2012年度も5月の広島市を皮切りに行われる。

受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「店長等講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

内容は、業界の現状と将来展望、管理者の役割と能力の開発、マーケティング戦略概論、コンプライアンス基礎知識、風営法、正誤択一試験——となっている。日遊協会員以外の企業からの受講も歓迎する。

〔広島会場〕5月9日(水)

RCC文化センター

午前10時開始、午後5時前終了。

広島会場以降の2012年度店長等講習・試験の日程は別表の通り。

日遊協ホームページ
http://www.nichiyukyo.or.jp/
日遊協事務局
電話 03-3553-4333(代)
FAX 03-3553-4334

2012年度の店長等講習・試験の日程(5月の広島会場以降)

日程	場所	
7月 12日(木)	札幌	ホテルエルムサッポロ
7月 26日(木)	東京	日遊協本部会議室
9月 27日(木)	博多	FFBホール
10月11日(木)	名古屋	名古屋ガーデンパレス
10月25日(木)	東京	日遊協本部会議室
10月31日(水)	大阪	難波市民学習センター(予定)
2013年 1月 23日(月)	東京	日遊協本部会議室
3月 7日(水)	東京	日遊協本部会議室

※仙台会場については別途検討

日遊協臨時総会

1月12日
グランドアーク半蔵門
出席会員100社

監事に加藤義久氏選任 有識者枠で公認会計士

第5回定例理事会に引き続いて
1月12日、グランドアーク半蔵門
で日遊協臨時総会が開かれた。出
席正会員100社、委任状提出正
会員158社で、同日現在の正会
員数(357社)の過半数を超え、
定款第23条の規定を満た
して臨時総会は有効に成
立した。議長団に深谷会長、
石橋保彦、石山敬達両副
会長を選出し、議事を進
めた。



欠員となっている監事
1人(有識者)に加藤義久
氏(日本みらい会計事務所)
を選任した。任期は6月
の通常総会までとなる。
加藤氏は慶應義塾大学工
学部卒、44歳。1990
年富士銀行(現みずほ銀
行)入行、95年公認会計
士二次試験合格、柏原公
認会計士事務所で会計、
税務全般実務に従事した
後、99年加藤義久公認会
計士事務所を設立、20
08年日本みらい会計事
務所を設立した。昨年11



監事就任のあいさつをする加藤義久氏

月の日遊協第4回定例理事会で監
事候補として承認されていた。

加藤監事は「平成11年(1999)
まで柏原(信夫)先生の下、柏原公
認会計士事務所で会計士の勉強を
し、その間、日遊協の担当として
頑張らせていただいた。その後、
柏原先生の共同パートナーとして、
平成20年まで同じフロアで働かせ

ていただいた。昨年柏原先生が急
逝され、私が日遊協の関係を引き
継いで今に至る。今回このような
形で監事に選任され、身の引き締
まる思いだ。遊技関連事業のます
ますの発展に寄与させていただく
と抱負を述べた。

篠原専務が活動報告

篠原専務理事から、被災地への
ボランティア派遣や節電対策など
東日本震災関連の実績、8専門
委員会や他団体と合同の各種委員
会の動き、風営法改善検討など昨
年1年間の日遊協活動が報告され
た。

250人参加で新年を祝う

「お客様のため勝負の年に」

深谷会長、環境作りを強調

日遊協の新年祝賀会が1月12日、
第5回定例理事会、臨時総会、記
者会見に引き続いてグランドアー
ク半蔵門で開かれた。日遊協の正
会員、賛助会員、理事・相談役等
の役員をはじめ、政界、業界誌関
係者など約250人でにぎわった。

深谷会長は冒頭の挨拶で「大震
災に被災され未だ復興途上にある
皆様のことを考えると、素直にお
めでとうございますと言えないの
かなとの一抹の思いがある。しか
しながら今日は元気の出る会にし
たい」と切り出し、「お陰様で昨

来賓の平沢勝栄衆議院議員(右から2人目)を囲む(左から)澤井明彦榊SANKYO社長、庄司正英相談役、深谷会長



年は皆様の尽力のおかげというか、業界の力というか、そういうものを示していただいた。大震災におけるホールの節電、タイの洪水でのメーカーの踏ん張りなどがあり、つつがなくとはいえないが、何とか新年を迎えることができた。ことはは昨年にもまして勝負の年となる。元気で明るく笑顔でお客様を迎えよう。お客様のために何ができるのか、どうすればお客様が

歓談中に記念撮影(左から)知念安光理事、若松千容子榊千歳観光代表取締役、山田久雄副会長、阿部恭久副会長



元気にこぞってホールに足を運んでいただけなのか、そういうことを考えなければいけない年になると思う。昨年暮れにはNHKで女性のパチンコ依存をテーマにした番組が放送された。ご覧になった方もあると思うが、間違った内容が随所にあった。われわれは萎縮せず、間違っている報道には間違っていると主張することも、業界での日遊協の役割であると思って



談笑する(左から)韓裕理事、庄司孝輝副会長、榊東嗣・高橋雄豪社長

いる。業界にはビジョンがある。健全で楽しい環境をつくってお客様を迎えることがわれわれの業だ。今年1年、笑顔で頑張りましょう」と述べた。

松田高志同友会代表理事が乾杯の発声をして祝賀会が始まり、随所に歓談の輪ができた。平沢勝栄衆議院議員が来賓でかけつけ、祝辞を述べた。



恒例の「福を招く」万歳三唱の音頭をとる大久保正博副会長



大久保正博副会長(左)とご機嫌で握手を交わす石橋保彦副会長

健全娯楽へ思いを新たに

パチンコ・パチスロ産業21世紀会を構成する14団体は1月27日、東京・新橋の第一ホテル東京で「パチンコ・パチスロ産業賀詞交歓会」を開いた。業界団体合同の賀詞交歓会は08年から行われ、今回が5回目。

参加したのは、全日本遊技事業協同組合連合会、社団法人日本遊技関連事業協会、日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合、全国遊技機商業協同組合連合会、回胴式遊技機商業協同組合、遊技場自動サービスマシナ工業会、遊技場メダル自動補給装置工業会、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会、一般社団法人余暇環境整備推進協議会、一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会、一般社団法人プリペイドシステム協会、一般社団法人電子認証システム協議会の14団体の役員・幹部。さらに行政当局、特定非営利活動法人リカ

バリーサポート・ネットワーク、財団法人保安電子通信技術協会などの関係者が来賓で出席、報道関係者を含めて会場は約430人にぎわった。

原田全日遊連理事長

「日本の文化大切に」

冒頭、14団体の代表者が壇上に並び、代表して原田實全日遊連理事長、石橋保彦日工組副理事長、里見治日電協理事長の3氏が挨拶した。原田理事長は「東日本大震災で東北方面の皆様は悲しい体験をされ、今も厳しい環境で生活されている。亡くなられた方々のご冥福をお祈りします」と切り出し、「去年は総付景品等のガイドラインなど、一時はオツという声で受け止められたが、これらを守ることで大衆娯楽であるという約束ができると思う。この席で皆様と杯を交わしながら、パチンコは日本の文化であり、健全な大衆娯楽で

あるという思いを新たにしよう」と述べた。

石橋副理事長は「地震のような天変地異とは違い、業界を取り巻くアゲインストの風は、自然現象ではなく何らかの原因がある。英知を絞って原因をあぶり出し、業界が健全発展するために努力しよう」と強調した。また、里見理事長は「今年には日電協組合員が一つになって、遊技性のある、しかし過度の射幸性にならないような機械を提供できるように切磋琢磨していく」と抱負を述べた。

加藤保安課長

「より一層健全化へ」

来賓の警察庁、加藤達也保安課長は「業界は不況の中、低料金化や低射幸性遊技機の開発等で、手軽に安く遊べる環境づくりに努められていることに敬意を表する。また、遊技産業健全化推進機構やリカバリーサポート・ネットワーク

高瀬正敏同友会相談役(左)に話しかける原田實全日遊連理事長



にこやかに歓談する
(左から)大泉政治メダル工業会理事長、木原一雄自工会理事長、里見治日電協理事長

14団体代表者が壇上に勢ぞろい。左から PSA・小堀豊理事長、認証協・下口二郎代表理事、PCSA・加藤英則代表理事、余暇進・宮崎磊介代表理事、同友会・松田高志代表理事、メダル工業会・大泉政治理事長、補給組合・梁川誠市理事長、自工会・木原一雄理事長、回胴遊商・伊豆正則理事長、全商協・中村昌勇会長、日電協・里見治理事長、日工組・石橋保彦副理事長、日遊協・深谷友寿会長、全日遊連・原田實理事長



ク等への支援も積極的に進められている。大震災に対しても業界挙げての義援金拠出やボランティア活動で社会的評価の向上に努められた。風営法の趣旨に沿って健全な大衆娯楽への取り組みを一層推進されることを期待する。警察庁としては、今後も違法行為者に対する取締りを強化するなど、パチンコが健全娯楽となる施策を推進していく」と挨拶した。

西村RSN代表

「常に優しい業界に」

続いて、21世紀会の構成団体が支援するパチンコ依存問題の相談機関、リカバリーサポート・ネットワークの西村直之代表が、「東日本大震災後に電話相談の件数はいったん減ったが、夏以降にだんだん戻り、この1月はいままでで一番多い。状況が変わっても一定の方は問題を抱えてしまう。それが千人に1人か1万人に1人かわからないが、問題を抱える人たちに對しても常にやさしい業界であり続けていたきたい」と挨拶した。最後に深谷日遊協会長が「私たちの産業は働く人たちを相手にした産業だ。一生懸命足を運んで悪い

深谷友寿日遊協会長(右)と話し合う加藤達也保安課長(左)中央は庄司孝輝日遊協副会長



を楽しんでいたファンの皆様とともに、遊技しない人たちにもご理解いただいて味方になってももらえるような産業を、みんなで力を合わせて築き上げていきたい」と述べ、乾杯の発声をした。

東日本大震災の被災地から秋山照明・岩手県遊協、竹田隆・宮城県遊協、吉川永造・福島県遊連の3理事長が壇上に上がり、秋山理事長が代表して挨拶した。また、昨年の秋の褒章で藍綬褒章を受けた原田全日遊連理事長が挨拶した。

のめり込みの問題で意見交換する
(左から)西村直之RSN代表と篠原菊紀諏訪東京理科大学教授



会話が盛り上がる
(左から)大器裕記回胴遊商副理事長、玉川達也保安課長補佐、金本正浩全日遊連副理事長

警察庁が異常計数機で通知

管轄署に修理結果の報告を

誤差使用は詐欺罪にも

警察庁は1月16日、保安課長名で日遊協などホール関連5団体、自工会に向けて、「一般社団法人遊技産業健全化推進機構による計数機検査における異常計数の認知時の措置について」と題する、要旨次のような要請文を発した。

「健全化推進機構は今年度からホールでの計数機検査を実施し、異常計数が認められた時は機構検査員が営業者に計数機の修理要請書を交付するとともに、検査結果を

管轄警察に通報している。

異常計数が確認されるということとは実際の遊技球等の数量とその計数結果に差異が生じているということ、異常計数の結果に基づいて提供された賞品は風営法施行規則第35条第2項第1号イの『当該遊技の結果として表示された遊技球等の数量に対応する金額と等価の物品』とは認められず、いわゆる等価交換規制に違反する。また、異常計数の発生を認識しながら異常計数機を営業の用に供することは、詐欺罪に該当する行為を行うことになる場合もある。機構から修理要請書を受け取った措置置営業者は直ちに異常計数機の使用を中止し、修理等の措置を講じる必要がある。

機構から通報を受ける警察としても、異常計数機について措置が講じられたことを確認する必要がある。適宜の時点で当該営業所に立ち入りを実施する。要措置営業者は異常計数機を修理し、使用再開

するときは、あらかじめ修理結果が記載された書面（計数機のメーカーの修理報告書の写し等）を添えて修理の完了を管轄警察署に報告するようお願いする。

なお、異常計数機を撤去し、新たな計数機を設置した場合やそのまま計数機を減台した場合は、風営法第9条第3項により営業所の設備の変更に係る届け出をすることになるので管轄警察署への報告は不要。

また、機構による計数機検査によらず、自主点検等で異常を認知した場合でも、当該計数機を営業の用に供すれば、いわゆる等価交換規制に違反するだけでなく、詐欺罪に該当する行為を行うことになる場合もあるという点については変わりないので、直ちに異常計数機の使用を中止して所用の措置を講じてほしい。

日遊協、全会員に順守要請

日遊協は1月17日、警察庁から

の計数機検査に関する通知文書について、専務理事名で全会員に要旨次のような連絡を発信した。

「関係各位にあつては、（警察庁通知文書の）趣旨を十分に理解され、とくにホールにおいては、適正な計数機の使用・点検に心がけると共に、遊技産業健全化推進機構の計数機検査において修理要請書の交付を受けた場合、あるいは自主点検で異常を認知した場合に、その対応に誤りのないようお願いする」。

経営改革委員会

1月13日
本部会議室
出席委員等18人

消費税対応で協議

消費税対応策についてフリーマーケットで意見を出し合った。消費税問題に関しては、全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCS Aのホール関連5団体で協議することになっており、それに備えて等価交換の問題も含めた全日遊連の考え方を検証した。同委員会としては、最終的に消費税について日遊協のスタンスを決めたいとしている。



計数機の検査方法と異常事案について報じた11月号
(遊技産業健全化推進機構機関誌)

遊技機委員会(開発・健全化合同)

1月19日
本部会議室
出席委員等24人

試作機4機種を委員が試打

会議に先立って、東京・茅場町の(株)ニューギン東京ビルで、開発委員会のメンバーを集め、試作機の試打が行われた。試作機は5月に開催を予定している「遊技機試打会」(仮称)に出展するためのコンセプト機で、この日は開発担当の(株)高尾、(株)三洋物産、(株)ニューギン3メーカーからパチンコ4機種が提示された。

結果は2月末に発表

ファンアンケート調査

このあと、日遊協本部会議室で開発委員会、健全化委員会合同の



試作機の試打でメーカー側の説明を聞く遊技機開発委員会の委員たち

遊技機委員会が開かれ、両委員会に分かれて討議した。開発委員会のグループはパチンコ、パチスロそれぞれの試作機の開発状況、試打会運営に関して協賛企業との交渉の進捗状況などが報告された。

健全化委員会のグループは、昨年12月に全国の日遊協会員ホール、都遊協青年部、九遊連青年部の協力で実施された「ファンアンケート調査」について、報告書作成の進捗状況が報告された。報告書は2月末に発表される予定。

支部強化委員会

1月12日
本部会議室
出席委員等19人

ボランティア活動を総括

ゴト対策、節電など報告

北海道、東北、東京都・関東、中部、近畿、中国・四国、九州の7支部の支部長・役員、事務所長本部側から深谷会長、白石良二委員長らが出席した。

1月12日現在の会員数が報告さ

れた。正会員357社(ホール114、機械70、販売127、景品10、その他36)、賛助会員54社、団体会員1(同友会)の計411社と1団体となっている。

各支部の2011年度の活動状況が報告された。支部単位に行なわれた東日本大震災被災地でのボランティア活動(宮城県石巻市、岩手県陸前高田市)に明け暮れた1年だった。ほかにセキユリティー関連のセミナーや対策部会(北海

流通制度委員会

1月17日
本部会議室
出席委員等17人

講習・試験の日程了承

2012年度の遊技機取扱主任

者講習・試験の日程が、第5回定例理事会(1月12日)で承認されたことが報告され、流通制度委員会でも了承された。12年度は札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、高松、福岡の8会場で計36回(新規14回、更新22回)行われる。遊技機取扱主任者の

道、中部、近畿、九州)、パチスロ工場見学(中・四国)、節電セミナー(九州)、チャリティゴルフコンペ(東京都・関東)、皇居勤労奉仕(東京都・関東、近畿、中・四国)などが目立った。

支部側から、PSIO(遊技産業不正対策情報機構)への投稿内容開示の要望が出され、不正対策室会議(全日遊連、日遊協、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、自工会で構成)で検討することになった。

講習・試験については一昨年の流通制度委員会で回数増加が要望され、11年度は新規、更新計4回が増設されており、12年度も前年度の回数を踏襲することになった。

2012年度 遊技機取扱主任者講習・試験月別予定表
2012.4.1~2013.3.31

月別	会場別	新規	更新	講習会場	
2012年	4月	東京	9(月)	オーラム	
		東京	16(月)	17(火)	都市センターホテル
		札幌		24(火)	札幌ガーデンパレス
5月		広島	10(木)	11(金)	メルパルク広島
		仙台	29(火)	30(水)	メルパルク仙台
		大阪		12(火)	大阪ガーデンパレス
6月		大阪	25(月)	26(火)	大阪ガーデンパレス
		福岡		4(水)	博多サンヒルズホテル
		札幌	10(火)	11(水)	札幌ガーデンパレス
7月		東京	24(火)	25(水)	都市センターホテル
		名古屋	6(月)	7(火)	名古屋ガーデンパレス
		仙台		24(金)	メルパルク仙台
8月		高松	6(木)	7(金)	マリナパレスさぬき
		東京		13(木)	都市センターホテル
		福岡	25(火)	26(水)	ニューオータニ博多
9月		名古屋	9(火)	10(水)	名古屋ガーデンパレス
		大阪		18(木)	大阪ガーデンパレス
		東京	22(月)	24(水)	都市センターホテル
10月		大阪	1(木)	2(金)	大阪ガーデンパレス
		東京		7(金)	都市センターホテル
		東京	24(木)	25(金)	都市センターホテル
2013年	1月	福岡	27(水)	28(木)	博多サンヒルズホテル

*会場別実施回数 8会場 36回(新規14・更新22)